

授業科目	ソーシャルワークの理論と方法(専門)A				単位	2		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21305J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	本講では、先ず精神保健医療福祉分野におけるソーシャルワークの概要を説明する。それを踏まえた上で、ソーシャルワークの展開過程や展開技法について説明する。更にソーシャルワークの理念、プロセスや観察、測定や評価を中心に解説し、多職種協働や連携、家族や地域支援についても解説して行く。基本的にはテキストに沿って講義を行うが、精神科医療機関において相談援助の実践をしてきた実務家教員として、可能な限り具体的事例を取り上げながら、精神医療の実際や、精神障害者の社会参加等についての講義を展開する。							
学生が達成すべき行動目標	①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解し説明できる。 ②個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえケースを検討できる。 ③精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を説明できる。 ④精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を説明できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	10	0	0	25	100	
知識・理解 (DP1-1)	15						15	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10				20	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)						5	5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を、理解した上で説明できる。 ②個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえケースを、理解した上で検討できる。 ③精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、理解した上で説明できる。				①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を、説明できる。 ②個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえケースを、検討できる。 ③精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、説明できる。				

④精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、理解した上で説明できる。		④精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション ソーシャルワークの構成要素について	講義	シラバスの事前通読	30分
2	ソーシャルワークの展開過程について	講義	講義範囲の事前通読	30分
3	ソーシャルワークの基本的視点 特に精神保健福祉分野を中心に	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	ミクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワークの展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開 技法(1) インテーク・アセスメント	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開 技法(2) 面接技術・グループワーク・アウトリーチ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開 技法(3) 人や環境へのアプローチ・ケアマネジメント	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	精神保健福祉分野における家族支援	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	精神保健福祉分野における家族の課題 家族理解の変遷	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	精神保健福祉分野における家族支援の方法 実際の事例研究	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	精神保健福祉分野におけるコミュニティワーク	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	精神保健福祉分野における地域包括支援	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	精神保健福祉分野におけるソーシャルアクション 個別支援から地域体制整備	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	精神保健福祉分野における政策提言や政策展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	精神障害者の地域移行支援について 総まとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉士の国家試験指定科目であることから、精神保健福祉士に関連する講義を既修もしくは履修中であることが望ましい。			
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規最新版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材等／データベース・雑誌等の紹介 「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版 「精神保健福祉白書」中央法規最新版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	より理解を深めていくために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。 精神保健医療福祉に関する、学外での研修会や勉強会の情報を提供しますので、興味のある学生は利用してください。			
達成度評価に関するコメント／課題に対するフィードバックの方法	試験、レポート、授業貢献度にて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			

